

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

保険・一般常識 試験問題用紙

(2023年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から 1 つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 「物件の種類と判定」および「一つの建物」について

ア. 工場敷地外にある事務所は、一般物件となる。

イ. 住宅物件における「一つの建物」とは、建物の主要構造部のうち、外壁、柱および屋根のいずれをも独立して具備したものをいい、柱がない建物(壁式構造)は外壁および屋根により判定し、外壁がない建物は柱および屋根により判定する。

ウ. 寮、寄宿舍および下宿屋は、住宅物件となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 建物の構造級別について

ア. 住宅物件（一般建物）において、耐火建築物の一戸建て住宅はT構造と判定されるが、準耐火建築物の一戸建て住宅はH構造と判定される。

イ. 一般物件（一般建物）における鉄骨造建物の構造級別は、2級と判定する。

ウ. 一般物件における新築中の建物（増築中の建物の増築部分を除く）は、工事完成後の構造級別による。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 2】

次の 1～8 の記述は、店舗総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険において、建物内外の給排水設備（スプリンクラー設備・装置を除く）の事故に伴う漏水等により保険の対象に生じた損害は、損害保険金の支払い対象となる。
2. この保険において、建物と設備・什器等の所有者が異なる場合で、設備・什器等を保険の対象とするときは、建物に付加した被保険者の所有する電気・ガス・暖房・冷房設備で業務用のものは保険証券に明記されていなければ、保険の対象に含まれない。
3. この保険において、火災により保険の対象に損害が生じ、消火活動のために緊急に投入された人員または器材にかかわる費用（人身事故に関する費用、損害賠償に要する費用を除き、謝礼に属するものを含む）は必要または有益な費用として損害防止費用が支払われる。
4. この保険において、鋳型、木型、模型その他これらに類する物は、保険証券に明記されていれば保険の対象に含まれる。
5. この保険において、保険契約者または被保険者が反社会的勢力に該当すると認められる場合、保険会社は当該保険契約者に対して書面による通知をもって保険契約の解除ができるが、暴力団員でなくなった日から 3 年を経過した者は反社会的勢力に含まれない。
6. この保険において、保険の対象である設備・什器等を収容する建物が地震による火災で半焼以上（建物の焼失した部分の床面積のその建物の延べ面積に対する割合が 20% 以上）となった場合、その損害は地震火災費用保険金の支払い対象となる。

7. この保険において、機械の運動部分または回転部分の作業中に生じた分解飛散の損害は、保険金支払いの対象となる。
8. この保険において、保険会社は、保険契約者が保険金を不法に取得する目的または第三者に保険金を不法に取得させる目的で締結した保険契約について、保険契約者への書面による通知をもって失効させることができる。

【問題3】

Aさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	3,500万円	90%	2,500万円	3,800万円
Y建物 (乙保険会社)	2,900万円	80%	1,500万円	2,000万円

【問題4】

火災保険の特殊契約方式に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 「付保割合条件付実損払特約」が付帯できる保険の対象の適用物件は、住宅物件の場合、H構造またはT構造の建物およびこの建物に収容される動産である。
- イ. 火災通知保険特約は、保険期間の途中で保険金額の増額はできるが、減額することはできない。
- ウ. 特殊包括契約に関する特約は、普通火災保険（一般物件、工場物件、倉庫物件）、住宅火災保険、住宅総合保険および店舗総合保険の特約として引き受ける。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題5】

店舗休業保険、利益保険および営業継続費用保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 店舗休業保険において、保険の対象が盗難によって損害を受けた結果、営業が休止または阻害されたために生じた損失は、保険金支払いの対象となる。
- イ. 利益保険において、国または公共機関による法令等の規制により保険の対象が損害を受けた結果、営業が休止または阻害されたために生じた損失は、保険金の支払い対象とはならない。
- ウ. 営業継続費用保険において、営業継続費用の軽減に効果があった復旧促進費用および保険の対象の復旧に要する費用は、保険金の支払い対象となる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題6】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2のそれぞれの記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 保険の対象および契約方法について

ア. この保険の保険期間は、最長3年である。

イ. この保険では、分譲マンションのような区分所有建物において、マンション管理組合等が火災保険の保険契約者となり共用部分を一括して保険の対象とし、地震保険を付帯して契約する場合でも、地震保険を希望しない区分所有者の共有持分については、マンション管理組合等の保険契約者の確認印を取り付けたうえで地震保険を付帯しないことができる。

ウ. この保険は、主契約である火災保険契約に原則自動付帯であるため、主契約が地震保険の対象物件であり、保険契約者から地震保険を付帯しない旨の申し出がない限り、主契約と同時に契約される。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 損害の認定および保険金の支払いについて

- ア. この保険において、建物の主要構造部の損害の額には、損害が生じた建物を原状回復するため地盤等の復旧に直接必要とされる最小限の費用が含まれる。
- イ. 地震による洪水、融雪洪水等の水災で保険の対象である建物が地盤面から 30cm の床下浸水の被害を被り、当該建物の損害が全損、大半損、小半損または一部損に至らないときは、その建物を一部損とみなす。
- ウ. この保険において、地震が生じた後における事故の拡大防止または緊急避難に必要な処置によって保険の対象に生じた損害は、この保険で補償される損害に含まれる。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題7】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は3,000万円、生活用動産（家財）の保険金額は1,500万円で住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することとし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額については、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とし、契約始期日および地震発生日は2017年1月1日以降であることを前提とします。また、算出した額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

〔損害の状況〕

	建 物	生活用動産（家財）
損害割合	40%	50%

（注）建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

- 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
- 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。
なお、支払われない場合は、解答用紙に「なし」と記入してください。

【問題 8】

次の 1～6 の記述は、債権保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 質権の設定ができる目的物は、建物等の登記または自動車等の登録など公簿の記載による公示の可能な物に限られる。
2. 一つの保険金請求権に対し、複数の質権が設定されている場合、質権の順位は、確定日付の取得の有無もしくは保険会社への確定日付のある通知が到達した時の前後にかかわらず、質権を設定した前後により判定する。
3. 保険金請求権に質権を設定する場合、保険契約者（質権設定者）に保険法上の義務違反があり、保険会社が保険契約を解除したときは、保険金が支払われないことがあるという短所がある。
4. 質権設定の対象となる火災保険契約における保険の対象は、担保に供されている不動産に限定される。
5. 保険金請求権に質権を設定した場合、保険会社が保険法の規定（重大事由による解除）により保険契約を解除することができるので、債権者（質権者）が知らないうちに保険契約が解除されてしまうおそれがあるという短所がある。
6. 損害保険会社は、保険料入金前に火災保険契約について質権設定を承認した場合であっても、債権者（質権者）に対し保険料未収による免責を主張することができる。

【問題9】

次の1～5の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 土木工事保険において、水上運搬用具は保険の対象に含まれない。
2. 組立保険において、チェーン切断等の組立作業の欠陥による損害は保険金支払いの対象とならない。
3. 機械保険では、クレーンやポンプのほか、立体駐車場設備も保険の対象に含まれる。
4. 動産総合保険では、損害保険金が支払われる場合に臨時費用保険金も支払われる。
5. 賠償責任保険の受託者特別約款において、支払（責任）限度額は、保険期間中に保険金の支払いが何回あっても保険金額は減額されない。

【問題 10】

自動車保険の対物賠償保険に関する次の 1 および 2 の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その番号を教えてください。

1. 保険金の支払い条件について

- ア. この保険では、被保険自動車を競技のために使用することによって生じた損害は保険金支払いの対象とはならないが、試験を行うことを目的とする場所で被保険自動車を使用することによって生じた損害は保険金支払いの対象となる。
- イ. この保険において、被保険者が損害賠償に関し、第三者との間に特約を締結している場合でその特約により加重された損害賠償責任を負担することによって被る損害は、保険金支払いの対象とならない。
- ウ. この保険では、被保険者が被保険自動車を使用者の業務に使用しているさい、対物事故により被保険者の使用者が所有する財物が滅失した場合、それによって被保険者が被る損害に対して保険金が支払われない。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

2. 保険金支払額・請求について

ア. この保険において、保険金が支払われるべき損害額には、損害賠償責任の額に加え、損害防止費用や争訟費用も含まれる。

イ. この保険では、被保険者または保険金を受け取るべき者が保険金の支払いの請求手続きを完了した日からその日を含めて10日以内に、保険会社が保険金を支払うために必要な事項の確認を終え、保険金を支払わなければならない。

ウ. この保険では、保険金請求権（賠償損害）は、事故が発生した時から発生する。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 11】

保険価額の評価に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 商品は継続使用という概念はないので、一部の例外（ダンピング物、死蔵品等）を除けば再調達価額と時価額とは等しくなる。
- イ. 営業用什器・備品の再調達価額の評価に当たり、一定の面積（室、面積単位当たり）に収容された営業用什器・備品の数量、価額を基準にして全体の価額を推定評価する方法がある。
- ウ. 中古建物購入時の再調達価額の評価にあたっては、土地価格と建物価格との区別が容易なため、建物の本来の価値を反映している。

《選択肢》

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 2. ア. 正しい | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 4. ア. 正しい | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 正しい |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

【問題 12】

次の1～7の記述は、損害保険契約に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 企業・個人事業主の事業活動に伴う危険を補償する損害保険契約には、片面的強行規定が適用される。
2. 保険契約は、保険契約者が保険者の作成した保険約款を包括的に承認して保険契約を締結するか否かを決定する諾成契約である。
3. 損害保険契約の締結時に、保険媒介者が、保険契約者または被保険者に対し、不告知や不実告知を勧めた場合、保険者は損害保険契約を解除することができるが、保険媒介者が保険契約者または被保険者が事実の告知をすることを妨げた場合、保険者は損害保険契約を解除することができない。
4. 損害保険契約の締結時に超過保険である場合、保険契約者および被保険者が善意でかつ重大な過失がなかったときは、保険契約者は超過部分について損害保険契約を取り消すことができるが、約定保険価額については取り消すことができない。
5. 保険者が告知義務違反によって損害保険契約を解除した場合、損害保険契約の解除前に発生した保険事故による損害はてん補されないが、不告知や不実告知の事実に基づかずに発生した保険事故による損害はてん補される。
6. てん補損害額は、その損害が生じた地およびその時における価額によって算定する。
7. 重複保険とは、同一の保険の目的物について、損害てん補責任を負う複数の保険契約が存在し、各保険契約の保険価額の合計額が保険金額を超過する保険のことをいう。

【問題 13】

次の1～8の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 債務不履行による損害賠償請求権は、債務の履行に関する確定期限の有無にかかわらず、債務者が債務の履行の請求を受けた時から損害賠償請求権が発生する。
2. 責任無能力者が第三者に損害を与えた場合、当該第三者が損害賠償を請求するためには、監督義務者が監督上の義務を怠ったことを、当該第三者が証明する必要がある。
3. 一般の不法行為において、特別な事情がある場合は違法性の阻却が適用されることがある。
4. 「公の営造物」とは、判例・通説では公道、河川、公園、港湾、橋等の施設を指し、警察犬や馬などの動物は該当しないとされている。
5. 判例では、被害者本人が不法行為により死亡した場合、被害者が持つ損害賠償請求権は、財産的損害に限り、請求権の放棄など特別の事情がない限り、相続人に相続される。
6. 被用者が使用者の事業の執行にあたり第三者に損害を与え、使用者が使用者等の責任を負う場合、常に被用者自身にも不法行為責任が成立していることが前提となる。
7. 製造物責任法において、その損害が不具合によるものなどその製造物についてのみ生じた場合には、同法上の責任は生じない。
8. 期限の定めのない消費貸借の返還債務は、債権者が債務者に対して催告すれば、その時から直ちに履行遅滞となる。

【問題 14】

次の1～6の記述は、個人情報保護法について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この法律において、個人情報取扱事業者は、保有個人データに関する開示、訂正、利用停止など各種請求のための手続きについて、本人の知り得る状態に置かなければならない。
2. この法律において、個人情報取扱事業者は、児童の健全な育成の推進のために特に必要があり、本人の同意を得ることが困難な場合、あらかじめ本人の同意を得ずに特定された利用目的の達成のために必要な範囲を超えて個人情報を取り扱うことができる。
3. この法律において、個人情報取扱事業者の権利または正当な利益を害するおそれがあるときには、利用目的の通知または公表をしなくてもよい。
4. この法律において、合併などの事業承継に伴い個人データの提供を受ける者は第三者に該当するため、あらかじめ本人の同意を得ずに当該個人データを提供してはならない。
5. この法律において、個人情報保護委員会は、個人情報取扱事業者が個人情報や匿名加工情報等に関する必要な報告または資料の提出を求められたにもかかわらず、報告または資料の提出がなかった場合、個人情報取扱事業者に対し、事業の中止を命令することができる。
6. この法律において、要配慮個人情報は、いかなる場合もあらかじめ本人の同意を得ないで取得してはならない。

【問題 15】

次の1～3の記述は、リスクマネジメントの基礎について述べたものです。□にあてはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

1. 自家保険プールとは、多くの企業が資金を拠出して資金プールをつくり、その中で損害を被った企業が出た場合、プールから損害を補てんする制度であり、□ **1** の形態の一種である。

《選択肢》

ア. リスクの保有 イ. リスクの分散 ウ. リスクの移転

2. 企業がリスクをとって利益を追求することを、□ **2** という。

《選択肢》

ア. リスク移転 イ. リスク回避 ウ. リスク選好

3. 貨物自動車運送事業法では、5～29人に1人、さらに□ **3** 両ごとに1人を追加の形で、運行管理者の選任を義務付けている。

《選択肢》

ア. 20 イ. 25 ウ. 30